

平成30年6月26日(火)

県政 F ネット

連 絡 先	
三重県医療保健部 薬務感染症対策課 感染症対策班	担当：金谷・小掠
電話：059-224-2352	

感染症の予防のための
情報提供について

病 名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157)		
年齢及び性別	13才・男性	職 業	中学生
住 所	度会郡		
発病年月日	平成30年 6月 19日		
診断年月日	平成30年 6月 26日		

(患者発生の経過)

- 6月19日 腹痛・水様便の症状がみられた。
- 6月20日 腹痛・水様便・発熱(38℃台)・倦怠感の症状がみられ、近医を受診した。
- 6月21日 夜から強い腹痛・頻回の水様便がみられた。
- 6月22日 同近医を再受診し、伊勢市内の病院へ紹介入院となった。
- 6月23日 症状は継続し、吐気、血便の症状もみられた。
- 6月24日 徐々に症状の軽減がみられた。
- 6月26日 6月22日の便検査から、腸管出血性大腸菌感染症と診断された。
6月26日現在、患者は軽度腹痛・軟便の症状がみられるものの、快方に向かっています。

【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施(伊勢保健所)

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】(四日市市保健所分を含む)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
患者	39	27	29	29	9
保菌者	19	10	15	13	2
計(感染者)	58	37	44	42	11

※平成30年1月1日～平成30年6月26日現在まで本件含む

平成30年内訳 患者：O157(5人) O26(2人) O111(1人) O121(1人)

保菌者：O157(2人)

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。
肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。
焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。
井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。
冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫(10℃以下)や冷凍庫(-15℃以下)に入れましょう。

③ 清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。